

伝えよう、 和食文化を。



入会案内

ホームページに掲載の申込書にてお申し込みください。
以下の流れに沿って手続き進行の上、入会基準に照らして入会の可否をご連絡致します。

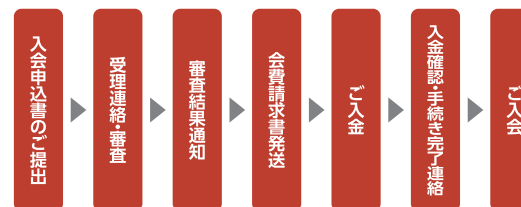
■入会基準

正会員	本会の事業と関連性を有する会社、団体、個人であって、 本会の事業活動に参画する意思を持つもの
賛助会員	本会の事業と関連性を有する会社、団体、個人であって、 本会の事業活動を賛助する意思を持つもの

■会員区分と年会費

区分	正会員	賛助会員	賛同会員
会費	企業会員	50万円	5万円
	団体会員	3万円	5千円
	個人会員	1万円	5千円
総会議決権あり	○	—	—
部会活動への参加	○	○	—
ロゴマークの使用	○	○	—
和食会議の情報提供が受けられる	○	○	○

■ご入会までの流れ



一般社団法人 和食文化国民会議

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-13-2 4階B
Tel: 03-5817-4915 (平日9:00~17:00) Fax: 03-5817-4916
E-mail: info@washokujapan.jp
ホームページ: <https://washokujapan.jp/>



一般社団法人
和食文化国民会議

代表理事 会長 村田 吉弘



和食文化を未来へつなぐ

私たち日本人は、古くから自然とともに暮らし、その恵みに感謝しながら食文化を育んできました。

四季折々の旬を味わうこと。素材の持ち味を生かすこと。家族や仲間と食卓を囲み、喜びを分かち合うこと。こうした営みの中で育まれてきた和食文化は、単なる料理ではなく、日本人の価値観や精神性そのものを映し出す文化です。

2013年に「和食：日本人の伝統的な食文化」はユネスコ無形文化遺産に登録されました。世界が評価したのは、料理そのものだけでなく、自然を敬い、人を思いやり、地域の風土とともに受け継がれてきた日本人の暮らしの知恵でした。

しかし今日、私たちの食を取り巻く環境は大きく変化しています。食生活の多様化が進み、家庭や地域で和食文化に触れる機会は少なくなりつつあります。だからこそ今、和食文化を守るだけでなく、未来へつなぐ、新しい時代にふさわしい形で発展させていくことが求められています。

和食文化は、健康的な食生活を支える知恵であり、地域の農林水産業を支える力であり、環境との共生を考えるための大切な文化資産です。そして何より、人と人を結び、心を豊かにする力を持っています。

和食文化国民会議は、料理人、生産者、研究者、教育関係者、企業、団体、行政、そして和食を愛する多くの皆さまとともに、このかけがえのない和食文化を次世代へ継承する活動を続けています。

和食文化を未来へつなぐ主役は、私たち一人ひとりです。

ぜひ本会の活動にご参加いただき、ともに和食文化の魅力を広く伝え、次の世代へ手渡してまいりましょう。

皆さまのご入会を心よりお待ちしております。

和食文化の素晴らしさを体験、発信していきましょう。

「和食：日本人の伝統的な食文化―正月を例として―」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機に、和食文化の保護・継承に責任を持つ唯一の民間団体として、2015年2月4日に一般社団法人和食文化国民会議は設立されました。会員とともに具体的な活動を行うため、「調査・研究部会」「普及・啓発部会」「技・知恵部会」の3部会と全国「和食」連絡会議を設置し、日本人の伝統的な食文化である「和食」を大切に思う皆様とともに様々な活動を行っております。

4つのメリット

和食会議に、正・賛助会員としてご入会いただきますと、下記4つのメリットがあります。

① シンポジウム・講演会、懇親会等での情報収集

各種シンポジウム、講演会、コラム等、「和食」に関する情報を和食会議ホームページやメール、郵送によりお届けします。また、部会や懇親会等で、和食会議役員や会員間の交流・情報交換の場をご提供します。



② 「和食」に関する情報発信の機会提供

ホームページ内「Washoku Japan News」や「会報」で「和食」の保護・継承活動について、情報発信を行っていただけます。また、講演会等でも発表の機会をご提供します。



③ 公式ロゴマークの使用

共通シンボルとして機能するロゴマークと統一スローガンを設定しています。和食文化の保護・継承に関わる広報活動・事業活動などにご活用いただけます。



伝えよう、和食文化を。

④ 「和食」の保護・継承活動への貢献

和食会議のメンバーとして、3つの部会、全国「和食」連絡会議の場での活動や、和食会議と企業・団体・個人会員との連携による活動を通じて、「和食」の保護・継承活動への貢献を一緒に実現できます。

※賛同会員にご登録された場合は、Eメールにより情報提供や一部のイベント参加のご案内をいたします。

和食会議の4つの活動

興味のある部会・会議に参加してください。複数の登録も可能です。

調査・研究部会

「和食」に関する調査・研究を行い、その成果に立った研究発表や書籍の刊行、和食文化に関する講演会や研修会の開催など、「和食」の調査・研究事業を担っています。



部会長
中澤 弥子

普及・啓発部会

「だしで味わう和食の日」をはじめとする食育活動、「和食」に関する効果的なPR活動、講演会や会員間の交流会など、「和食」に関する普及・啓発事業を担っています。



部会長
後藤 加寿子

技・知恵部会

実践による和食の調理技術の伝承、地域との交流による郷土食の発掘・発信など、「和食」の技術と知恵の伝承・発信事業を担っています。



部会長
奥井 隆

全国「和食」連絡会議

全国で「和食」の保護・継承に携わる方々との情報交換や連携により、国民運動としての「和食」の普及・交流を担っています。



議長
辻 芳樹

その他の取り組み

11月24日は「和食の日」の定着化

日本人の伝統的な食文化を見直し、和食文化の保護・継承の大切さについて考える日。

秋は「実り」の季節。「自然」に感謝し、五穀豊穡を祈る行事が全国各地で盛んに行われます。

日本の食文化にとって大切なこの秋の日に和食文化の保護・継承の大切さについて改めて考えてほしい、そのような願いから、11月24日を“いい日本食”「和食の日」と制定しました。



「和食」でSDGsを!

「和食」はSDGs（持続可能な開発目標）の考え方に適った食文化です。和食会議は、相互に関連する目標の達成のために「和食」が貢献できることを様々な活動で発信していきます。未来に向けて豊かな食を享受できるよう、我慢することではなく、楽しむことで、SDGs達成を目指します。

一般社団法人和食文化国民会議は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

各種広報活動

● 公式ロゴマーク・スローガンの設定

共通シンボルとして機能するロゴマークと統一スローガンを設定しています。和食文化の保護・継承に関わる広報活動・事業活動などにご活用いただけます。



伝えよう、和食文化を。

● 公式ホームページの設置

会員の皆様の交流や広く国民に向けた発信の場として、ホームページを運営しています。各会員の活動を発信したり、開催されるイベントや各種誘致を行うなど幅広くご利用いただけます。

